

## 第487回番組審議会報告

### (レポート提出による書面開催)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令されたため、感染拡大防止と出席者の健康安全を確保する観点から、レポート提出による書面開催とした。

〔開催日〕 令和2年5月29日(金)までにレポート提出による書面開催

〔レポート提出出席委員〕

鬼武一夫 委員長／相馬佳苗 委員／堀内史子 委員

手塚孝樹 委員／鈴木雅史 委員／水山和敬 委員

〔レポート課題番組〕 ◇YTSスペシャル

「やまがた発！ニッポンものづくりの極意 森が育んだ創造力」

令和2年5月20日(水) 19:00～19:54 放送

担当：編成制作局制作部長 工藤良一

〔レポートによる意見交換〕

山形テレビの第487回番組審議会は、5月29日を締め切り日として、各委員から課題番組についてのレポートをメールで提出していただき、合わせて各委員及び社側出席者にメールでフィードバックして意見交換を行った。

また、今年度の正副委員長の選任について、引き続き鬼武一夫委員長と杉山健二副委員長を再任することで各委員から同意を得た。

レポート課題番組は、職人の技や先端技術を紹介する「やまがた発！ニッポンものづくりの極意」シリーズの7作目となる。森の恵みを地域活性化につなげようと、コケで温暖化対策を進める環境製品や、燃えにくい木材を開発し、世界最大級の木造ホールを建設するなど、時代とともに進化し続ける山形のものづくりを紹介した。

委員からは、

「森林県ならではの試みはおもしろかった。また、午後7時という時間帯にバラエティー番組などではなく、こうした県内の取り組みを県民に向けて発信するYTSの姿勢にも好感が持てた」

「番組が伝える情報に過不足はなかった。さらに取材対象の個性がストレートに際立つ効果もあった」

「けん玉のアップ画像などが芸術品のように扱われており、その創造性や芸術性がわかりやすく伝わった。木材の美しさや塗装のすばらしさもよく伝わる映像だった」

「一見地味に見えるものづくりに生きる人たちをクローズアップすることで、ものづくり日本、山形モリノミクスの取り組みに対する力強いエールとなっていたと思う」

「他局のものづくり番組などを研究して、カメラワークや作り方をブラッシュアップする工夫をするとよい」

「番組全体を通して、取材対象者の手がける事業に対する熱い思いと志の高さを伝えることに成功していると感じた。スタッフの取材力と制作力の充実を感じるとともに、熊谷アナの番組を円滑にリードする力量を改めて感じた」などの意見が出された。

以上